

レジメン番号： GAST-116

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
胃がん	Cape+CDDP (XP療法)	21日間	6コース	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Lancet 376: 687-97, 2010

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
①	テキサート パロノセトロン アロカリス	9.9mg 0.75mg/50mL 235mg	点滴静注	30分	↓																					
②	硫酸Mg フィジオ70	8mL 500mL	点滴静注	60分	↓																					
③	マンニトール	300mL	点滴静注	60分	↓																					
④	シスプラチニン 生理食塩液	80mg/m ² 250mL	点滴静注	60分	↓																					
⑤	フィジオ70	500mL	点滴静注	60分	↓																					
⑥	カペシタビン	2000mg/m ² /日	内服	1日2回に 分けて 朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	

<注意事項/備考>

- ✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
- ✓ CDDP：腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ 聴力障害（CDDP）：総投与量300mg/m²以上で高音域の聴力低下、耳鳴りなどの発現↑
- ✓ Cape投与量：BSA<1.36m²：2400mg/day、1.36≤BSA<1.66m²：3000mg/day、1.66≤BSA<1.96m²：3600mg/day、BSA≥1.96m²：4200mg/day
- ✓ Capeの内服タイミング：Day1の夕食後からDay15の朝食後まで（ただし、Day2の朝からの内服でも可）
- ✓ Cape：他のフッ化ビリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける）
- ✓ HFS（Cape）：保湿剤で予防を。痛み、腫脹、水膨れなどの症状に注意
- ✓ 腎障害（Cape）：重篤な腎障害（CCr<30mL/min）では投与禁忌。CCr 30-50mL/minでは減量を（75%用量など）